

## 令和2年度第1回阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 令和2年7月16日（木）午後2時00分～午後3時00分

場 所 阿賀野市水原公民館 大講堂

出席者 委員名簿のとおり

### 議 事

#### (1) 令和元年度事業報告について

- 以下のとおり意見・質問があった。

パークアンドライドの調査で、3年くらい経ったと思うが、どれくらい変化をしたのか。その辺をそろそろ見ていったら良いと思う。

(宮腰委員)

大きく変化した（増えた）というところはないが、水原駅のパークアンドライド駐車場では初心者マークを付けている車が多く停まっていると感じている。車社会の中でも駐車場の利用者が維持できていて、かつ、増える要因にもなりうるかなと思っている。パークアンドライド駐車場を広報でも周知しているが、時々問い合わせもあるので、これからも周知を行い、利用促進を図りたい。

(事務局・杉山)

デマンドは運行しなかった本数が前年と比べてどうなったか。というのも、昨年も話をしたが、前日までの申し込みというのは非常に怠慢な状況である。他のところだと、1時間前までに申し込めば運行するというのが今や一般的である。そういう状況で運行できなければ、これでは「デマンド」と名前がついていたとしてもデマンド運行とは言えない。申し込みの受け皿がきっちりできてこないと、利便性が上がらないわけだから、利用者の人数は増えない。運行本数のみ減って費用は掛からないとなるが、これから75歳以上の方に乗ってもらおうというところ、その年代の方はますます乗れなくなる。その辺のところを考えていただきたい。

(宮腰委員)

運行しなかった本数については、申し訳ないが、現在把握していないため、報告ができない。ただ、ご意見をいただいたように予約の方法が不便だという利用者の声がある。それを何とか解決できないかということで、考えているところもあるが、それは次の議題で説明したいと思うので、その場でまたご意見をいただきたい。

(事務局・佐々木)

市営バスの利用状況の報告で、新型コロナウイルスの影響があったということだが、具体的にはどのような状況だったのか。あわせて、現状もどうなのか教えていただきたい。

また、交通事業者も出席されているので、取り組みとか現状とか聞かせてもらえたらと思う。

(北陸信越運輸局 交通企画課 土橋代理)

市営バスでは3月に高校が休校になったこと、小中学校も休校になったことから全体で約2,000人が減少した。主な利用者が高校生、小中学生、高齢者といったところ、高校生と小中学生の利用がなくなったということが大きい影響となった。高齢者も通院で使う方が多いが、外出自粛要請が出ていることで、薬を多めにもらったりして通院回数を減らす方もいたようだ。4月以降も引き続き休校が続いたことで、4月は前年同月比で3,100人の減少、5月は3,300人の減少となっている。それ以外では、日帰り温泉施設「あかまつ荘」が休館となって、高齢者が利用しなくなったことも要因の一つだと考えている。

(事務局・杉山)

路線バスでも市営バスと同じように学生の休みや外出自粛もあり、詳しい数字は今持っていないが、利用は減っていると感じる。コロナ対策の取り組みとしても、車内の換気や運転手のマスク着用、また、乗客にもマスク着用をお願いするなどして、安心してご利用いただけるようにしているところではあるが、利用者は減っているのが現状である。

(新潟交通観光バス(株)京ヶ瀬営業所 渡部委員)

今現在は、昼間のタクシー利用者の回復は見えるが、夜の方は 1/3 程度となっている。

(五頭タクシー株 松澤委員)

タクシーの売り上げは3月に入って急激に落ちてきた。昼もそうだが、夜が極端に悪くなった。特に4月が一番悪く、6割程度落ちた。5月も夜はほとんど仕事がないという感じである。今は徐々に戻りは始めているが、東京の方で感染が広まっていることもあるので、コロナ対策として車内の消毒など、注意して対応していきたいと思っている。

(あがのタクシー株 小菅委員)

タクシーの営業については前2社と同様の状況である。自社は江端線の運行を受託し、私も実際に運転しているが、そこで感じるのは、今まで利用していた高齢者が施設に入所したり、病院に入院したりして利用自体ができなくなっているということである。新型コロナによる「あかまつ荘」の休館ということだけではなく、そういったことも市営バスの利用者が減っている一因だと感じている。

(有白鳥タクシー 佐藤委員)

## (2) 令和2年度事業計画について

- 以下のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

AI 配車サービスはスマートフォンから予約できるということで、データを取得するうえで有効かなと思う。実証運行のやり方として、電話も使えてお年寄りも予約ができ、かつ、前日でなくてもよいということで、この計画をもとに実施することで問題ないと思われる。前山線は小さい路線であるので、どの程度有効なのか、まずは試験として実施するのもちょうどよいのではないか。ただ、AI といっても実際に配車はしなければならない。実証運行では現体制で行うと思われるが、今後を考えていくうえで、この実証運行のデータをとって、他の路線の配車にどう活かしていけるのかを考えてもらえればと思う。

(宮腰委員)

### (3) 阿賀野市地域公共交通網形成計画について

- 以下のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

説明のとおり、1期目の振り返りを行って、2期目にどういったことをしていくのか議論されることが必要になると思われる。

先ごろ、地域公共交通活性化再生法等も改正されているが、施行はこれからとなっていて、細かいところもこれから出てくると思う。新潟運輸支局としても随時、情報提供をしていきたい。

また、これまでの交通網形成計画は、どちらかというと、公共交通とまちづくりが主体であったが、法改正後は、例えば福祉輸送やスクールバスといった地域の交通資源を総動員するということの含みがあるので、そこも着目してもらいたい。名称も「地域公共交通網形成計画」から「地域公共交通計画」という新しいものに変更となる。協議会において議論いただくことになるが、事務局とも連携を密にして、次期計画の策定に協力したいと考えている。

(北陸信越運輸局 新潟運輸支局 大田委員)

### (4) 令和3年度生活交通確保維持改善計画について

- 意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。